

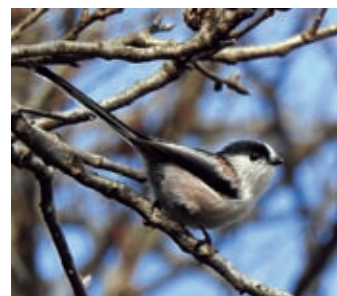
可愛い鳥のぬいぐるみ — 野鳥最小グループのエナガ —

陶史の森では、四季折々に多くの野鳥が観察できます。とくに冬は広葉樹の葉も散り木々の間を飛ぶ鳥たちの姿を観察しやすくなります。その鳥たちの中に、可愛くて愛くるしい“ぬいぐるみ”のような野鳥『エナガ』が観察できます。「チリリリ」「ジュリリリ」と鳴いたり、「ジュリジュリジュリ」と連続して鳴いたりします。小群で声が重なって「チュルチュル」と聞こえることもあります。

エナガの大きさは全長14cm程度。そのうち尾羽が7cm程度もあり、体の半分を占めています。そのため、江戸時代の人は水を汲む柄杓に見立てて『エナガヒシャク』と呼んでいました。現代では、ヒシャクが省略され『エナガ』と呼ばれています。体重は7g。最小グループの鳥です。エナガの見た目の特徴は、長い尾、白く丸いフワフワした体、小さなクチバシです。

エナガは2月頃からツガイで生活を始めます。ツガイのマイホームには、コケやクモの糸が使われ、内部は羽毛で覆われているため保温性抜群です。器用にマイホームを造るので「タクミドリ」とも呼ばれます。そして、子育て期には、相手が見つからなかったオスや繁殖に失敗した他のツガイが、子育てを助ける「ヘルパー」という生態も特徴です。

ぬいぐるみのような可愛いエナガが、皆さんのご来園をお待ちしています。



ヒシャクのような姿



フワフワの羽毛

森	の
日	記

のんびりと密にならないように — ちびっこ広場 —

教室のご案内

11月の小春日和の一日。陶史の森のちびっこ広場やバーベキュー場では、家族連れがのんびり過ごしていました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密を避ける生活が依然として続いています。陶史の森のちびっこ広場やバーベキュー場では、マスク、手洗いを徹底し、3密を避けながら楽しんでいただいています。(バーベキュー場の利用は1区画6人まで貸し出しています)

早くコロナの感染が収まって、自然の中で元気にのびのびと活動することができるようになることを願っています。



1月

●バードウォッチング(要申込 定員10人)

1月22日(日) 午前9時~11時
真冬の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。(雨天中止)

2月

●バードウォッチング(要申込 定員10人)

2月26日(日) 午前9時~11時
冬の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。(雨天中止)

※ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。